

### 史料紹介③ 石原宿共有文書目録

#### 凡 例

- 一、本目録は、2002年に古書店より購入した石原宿文書43点の目録である。
- 一、目録の項目は、年月日・文書名・備考・頁数・請求番号である。
- 一、年月日は、史料の作成年月日をとった。
- 一、文書名は、原題をとり、適宜（ ）で内容を補足した。原題のないものについては、〔 〕で文書名を付した。
- 一、備考では、差出宛名を「差出→宛名」と表記したほか、本紙・付属物等に関する特記事項を記した。
- 一、頁数は、一紙を「通」、二穴以上の綴を「冊」（但し、複数の文書を合綴しているものは「綴」）、断簡・包紙・木札を「枚」とした。
- 一、旧字体・異体字・俗字は常用漢字に改めた。
- 一、紙幅の都合上、住所に「近江国」「蒲生郡」「最上縫殿知行所」等であった場合、目録上での重複を避けて省略した。
- 一、目録順については、編年して配列した。配列にあたっては、一括関係を崩さないことを原則としたため、編年順よりも一括関係を優先させた箇所もある。
  - 一括の中で編年した上で、その最も古い文書の年月日で全体の配列の中に組み込んだ。
- 一、本文書の整理・データの作成は、豊田敦子（当時京都橘大学4回生）が行い、目録の編集は青柳周一があたった。

年月日	文書名	備考	員数	請求料
宝永6年4月	乍恐書付を以奉願候(土山宿増助郷赦免)	惣代訴訟人石原村七郎兵衛他2村3名→奉行、端裏貼紙「貳番」	1通	1
正徳1年10月	乍恐口上書を以奉申上候(御用人馬二付ハヶ村助村)	石原村庄屋七郎兵衛他1名・他4村8名→奉行	1通	2
宝暦5年8月	御尋二付申上候覚(石原宿附助郷村々書上)	石原村庄屋七郎兵衛他1名・他2村5名→多羅尾四郎右衛門手代斎藤半蔵他1名、端裏貼紙「四番」	1通	3
明和1年8月	寛永十七辰年石原伝馬被仰付候訳	表紙貼紙「壹番」	1冊	4
明和5年10月	乍恐以書付御願申上候(土山宿加助郷赦免)	石原宿庄屋吉左衛門他1名・加宿2村6名、助郷2村4名→信楽役所、端裏貼紙「五番」	1通	5
明和7年10月	乍恐以書付奉願上候(新規加助郷赦免)	石原村庄屋吉左衛門他1名・他3村12名→菊地惣内他1名、端裏貼紙「六番」	1通	6
安永3年11月晦日	一札之事(人馬継立入用出銀二付相對済)	上麻生村庄屋文右衛門他1名・他3村6名→石原村庄屋吉左衛門他1名・他2村2名、端裏貼紙「八番・壹」是迄度々願出候へとも御取用二不相成(中略)此書付を京都町奉行聞遣被成候済方一札二候へは為証拙差違候所是より御取上二相成候大切之書付也」	1通	7
文政10年11月20日	田地譲り渡し証文書	西勢野村譲り主多兵衛他3名→同村秋留善右衛門、袋一括8～24、巻込一括8～9	1通	8
11月20日	口上(銀子私方へ振方依頼)	庄や甚介→あき善右衛門	1通	9
嘉永1年5月	引価借用金子証文事(両主役所金)	借用人六右衛門他3名・頼母子世話方1名→村役人中、包紙一括10～11	1通	10
嘉永1年5月	引価借用金子証文之事(領主役所金)	借用人六右衛門他3名・頼母子世話方1名→村役人中	1通	11
嘉永3年11月	覚(貸付金拝借二付村柄等書上請)	石原村庄屋・年寄・組頭・村惣代→	1通	12
嘉永3年11月	一札(御殿貸附金借用願)	石原村図子七郎兵衛→、後欠	1通	13
嘉永3年11月	覚(御殿貸付金拝借二付村柄等書上請)	石原村庄屋善右衛門他6名→三井御殿役人中	1通	14
嘉永3年12月	奉拝借御金之事(御用金)	石原村庄屋・年寄・組頭・村惣代→、本本冒頭に切損あり	1通	15
嘉永3年12月	奉請取御金之事(貸付金)	石原村庄屋・年寄・組頭・村惣代→	1通	16
嘉永3年12月	覚(御殿貸付金拝借二付村柄書上請)	石原村庄屋善右衛門他7名→三井御殿役人中	1通	17
嘉永3年12月	奉差上一札之事(御殿御用金拝借)	→三井御(殿)役(人中)、文書後半を切損	1通	18
嘉永3年12月	奉差上一札之事(御殿御用金拝借)	石原村七郎兵衛→、後欠	1通	19

年月日	文書名	備考	員数	請求料
嘉永3年12月	奉請取御金之事(貸付金)	石原村庄屋善右衛門他6名→三井御殿役人中	1通	20
嘉永3年12月	奉差上一札之事(御殿御用金拝借)	石原村七郎兵衛→三井御殿役人中	1通	21
元治1年8月	奉願御金之事(京都東役所御用金借用)	石原預り主庄屋義左衛門他5名→油屋喜八、月番九郎兵衛の奥裏書あり	1通	22
慶応2年12月	連印一札之事(代人宇之輔より冥加金差加祐長愛宕山納金)	祐長幼年二付後見小谷村親類惣代養味他1名→右立会人武右衛門他1名	1通	23
明治8年1月19日	[通知](達条々の受書差出すよう)	滋賀県庶務課→石原駅戸長・副戸長	1通	24
天保10年9月13日	[尻無村他三ヶ村助郷願書等綴]	石原宿役人惣代年寄善右衛門他1名→奉行	1綴	25
天保12年8月	天保拾貳年丑八月歎願書之控(尻無村他三ヶ村石原宿永助郷)	石原宿役人惣代年寄七郎兵衛他1名→道中奉行所	1冊	26
弘化2年3月21日	差上申一札之事(助郷村十五ヶ村助合ニ付請証文)	石原宿問屋武右衛門他1名・他2村3名→奉行所	1通	27
嘉永3年12月	奉請取御金之事(貸附金)	石原村庄屋善右衛門他7名→、後欠、巻込一括28～36	1通	28
天保13年11月	[断簡]	蒲生郡大森村庄屋喜兵衛他2名・他2村5名・大森村口入文平→	1枚	29
天保13年11月	[断簡]	蒲生郡大森村庄屋喜兵衛他2名・他2村5名・大森村口入文平→	1枚	30
嘉永3年12月	[断簡]	石原村庄屋善右衛門他7名→	1枚	31
子9月晦日	覚(当たり圖渡し金勘定)	伊勢屋源六講世話方→村役人、「六右衛門縁分」とあり	1通	32
丑6月12日	覚(元利金受取)	日の油屋喜八代儀右衛門→石原宿庄屋九郎兵衛	1通	33
――	一札(御殿貸附金拝借)	後欠	1通	34
――	奉拝借御金之事	後欠	1通	35
――	奉差上一札之事	後欠	1通	36
万延1年12月	乍恐以書付御歎願奉申上候(宿方家数減等二付小谷村・三十坪村外二ヶ村助郷仰付)	石原宿役人惣代年寄善右衛門他1名→奉行所、端裏貼紙「万延元申十二月十三日神田橋外御奉行所酒井隠岐守様江願上候」	1通	37
慶応3年2月	乍恐以書付御歎願奉申上候(横山村他四ヶ村へ定助郷仰付の執成)	石原宿問屋武右衛門他4名→梅沢九十郎他1名	1通	38
卯1月	[達書](五ヶ年間人馬賃錢四割増)	役所→石原宿庄屋・問屋・年寄中	1通	39
卯6月	乍懼以口上書御願奉申上候(強盜取締ニ付出錢合力)	蒲生郡番人小頭中・組合中・組下中→石原村役人衆中、包紙	1冊	40

年月日	文書名	備考	頁数	請求番号
-- --	〔観音経〕	前後欠	1 通	41
-- --	〔包紙〕	上書〔御代参街道 石原駅書類 三通在中〕紙縫	1 枚	42
-- --	〔木札〕	上書〔下郷四ヶ村一札〕	1 枚	43